



## EventApp サービス

---

この章では、DCNM Web サービスの EventApp サービスに対応する API メソッドについて説明します。

### EventApp サービスの概要

EventApp サービスは、データベース内の永続的なイベントを取得するさまざまな方式を提供します。

## createUserAction

イベントのリストで行われる userActions を持続させます。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

annotatedEvents — イベントのリストで行われる userActions のリスト

### 戻り値

void

## deleteEventsBeforeATimeStamp

指定された Timestamp オブジェクトより前のタイムスタンプを持つイベントを削除します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

timestamp — タイムスタンプを指定します。

### 戻り値

void

## deleteEventsBetweenTimestamps

2 つの timeInstances (startTime と endTime) の間のタイムスタンプを持つイベントを削除します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

startTime — 開始タイムスタンプ

endTime — 終了タイムスタンプ

### 戻り値

void

## getEventCountAfterATimestamp

指定された Timestamp オブジェクトよりあとのタイムスタンプを持つイベントの数を返します。

指定されたタイムスタンプよりあとのイベントがデータベースにない場合、0 を返します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

timestamp — タイムスタンプを指定します。

### 戻り値

指定されたタイムスタンプよりあとのタイムスタンプを持つイベントの数

## getEventsAfterATimestamp

指定された Timestamp オブジェクトよりあとのタイムスタンプを持つイベントのリストを返します。

指定されたタイムスタンプよりあとのイベントがデータベースにない場合、空のリストを返します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

timestamp — タイムスタンプを指定します。

eventCount — データベースから取得するイベントの数を指定します。

### 戻り値

指定されたタイムスタンプよりあとのタイムスタンプを持つイベントのリスト

## getEventsBeforeATimestamp

指定された Timestamp オブジェクトより前のタイムスタンプを持つイベントのリストを返します。

指定されたタイムスタンプより前のイベントがデータベースにない場合、空のリストを返します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

timestamp — タイムスタンプを指定します。

eventCount — データベースから取得するイベントの数を指定します。

### 戻り値

指定されたタイムスタンプより前のタイムスタンプを持つイベントのリスト

## getEventsBetweenTimestamps

2 つの `timeInstances` (`startTime` と `endTime`) の間のタイムスタンプを持つイベントのリストを返します。

### パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`startTime` — 開始タイムスタンプ

`endTime` — 終了タイムスタンプ

### 戻り値

2 つの `timeInstances` (`startTime` と `endTime`) の間のタイムスタンプを持つイベントのリスト

指定された `startTime` がヌルの場合、`endTime` より前のタイムスタンプを持つイベントを返します。

指定された `endTime` がヌルの場合、`startTime` よりあとのタイムスタンプを持つイベントを返します。

指定された `startTime` および `endTime` がヌルの場合、すべての永続的なイベントを返します。

## getEventsBetweenTimestampsByEventClass

指定された `filterType` を持つ 2 つの `timeInstances` (`startTime` と `endTime`) の間のタイムスタンプを持つイベントのリストを返します。

### パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`startTime` — 開始タイムスタンプ

`endTime` — 終了タイムスタンプ

`filterType` — データベースから取得するイベントのタイプを指定します。

次の `filterType` (Constants) を指定できます。

- `DcmNormalizedEvent`
- `DcmThresholdEvent`
- `DcmInformationalEvent`
- `UnsupportedEvent`
- すべてのタイプのイベント

### 戻り値

2 つの `timeInstances` (`startTime` と `endTime`) の間のタイムスタンプと対応する `filterType` を持つイベントのリスト

指定された `startTime` がヌルの場合、`endTime` より前のタイムスタンプを持つイベントを返します。

指定された `endTime` がヌルの場合、`startTime` よりあとのタイムスタンプを持つイベントを返します。

指定された `startTime` および `endTime` がヌルの場合、データベース内のすべての永続的なイベントを返します。

## getEventsForEventType

指定された EventType を持つイベントのリストを返します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

eventType — EventType を指定します。

### 戻り値

リストは指定された eventType と filterType に対応するイベントのリストを返します。

## getEventsForEventTypeByEventClass

指定された EventType と filterType を持つイベントのリストを返します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

eventType — EventType を指定します。

filterType — データベースから取得するイベントのタイプを指定します。

次の filterType (Constants) を指定できます。

- DcmNormalizedEvent
- DcmThresholdEvent
- DcmInformationalEvent
- UnsupportedEvent
- すべてのタイプのイベント

### 戻り値

リストは指定された eventType と filterType に対応するイベントのリストを返します。

## getEventsForFeature

指定された FeatureType を持つイベントのリストを返します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

featureType — FeatureType を指定します。

### 戻り値

指定された featureType を持つ永続的なイベントのリスト

## getEventsForFeatureByEventClass

指定された FeatureType と filterType を持つイベントのリストを返します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

featureType — FeatureType を指定します。

filterType — データベースから取得するイベントのタイプを指定します。

次の filterType (Constants) を指定できます。

- DcmNormalizedEvent
- DcmThresholdEvent
- DcmInformationalEvent
- UnsupportedEvent
- すべてのタイプのイベント

### 戻り値

指定された featureType と filterType を持つ永続的なイベントのリスト

## getEventsForPerceivedSeverity

指定された PerceivedSeverity を持つイベントのリストを返します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

perceivedSeverity — PerceivedSeverity を指定します。

### 戻り値

指定された perceivedSeverity を持つ永続的なイベントのリスト

## getEventsForPerceivedSeverityByEventClass

指定された PerceivedSeverity と filterType を持つイベントのリストを返します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

perceivedSeverity — PerceivedSeverity を指定します。

filterType — データベースから取得するイベントのタイプを指定します。

次の filterType (Constants) を指定できます。

- DcmNormalizedEvent
- DcmThresholdEvent
- DcmInformationalEvent
- UnsupportedEvent
- すべてのタイプのイベント

### 戻り値

指定された PerceivedSeverity と filterType を持つ永続的なイベントのリスト

## getLastEvent

データベースに残っていたイベントを返します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

### 戻り値

データベースに残っていたイベント

## getUserActions

指定された eventId を持つ AnnotatedEvents のリストを返します。

### パラメータ

opContext — 動作可能なコンテキスト

eventId — 永続的な eventId

### 戻り値

eventId を持つ AnnotatedEvents のリストを返します。

## modifyEventStatus

イベントのリストのデータベース内の `EventStatus` をアップデートします。

### パラメータ

`opContext` — 動作可能なコンテキスト

`eventIds` — `eventIds` のリストを含みます。

`eventStatusList` — 修正された `EventStatus` のリストを含みます。

### 戻り値

`void`